

労働安全衛生マネジメントシステム

リスク見積りNo	1	作業項目	積卸による転落事故	作業頻度	S	作業時間	60	作業形態
					回/日		分/回	
発生の恐れのある災害内容 及び見積り評価		荷台や荷物の上から転落する	頻度	可能性	重大性	合計	リスク	定常
			F	P	S	F+P+S	レベル	備考
			4	6	6	16	VI	
リスクの低減措置	措置の分類	リスク低減措置の内容	頻度	可能性	重大性	合計	リスク	備考
			F	P	S	F+P+S	レベル	新たに発生する災害、対策の現実性等
1	本質安全化	重ねて高い荷物を積まない フォークリフトで卸す	1	1	1	3	I	リフトとの接触災害、低い場所からの転落
2	工学的措置	安全帯を付ける荷台横の足場の設置 落ちる場所にネットを付ける、落下緩衝マット	1	1	1	3	I	安全帯をかけるロープを付けると荷物が卸しにくい、安全帯を付けたり外したりする時間がかかるし、その動作が危ない。
3	管理的措置	作業手順の徹底、作業前のKYTの実施 上がる前にイメージ	4	5	6	15	V	作業手順書の作成、手順を守らない人の対処
4	個人保護具	保護具の着用 安全靴	4	6	6	16	V	保護具の使い方
現実的な低減措置		できるだけ2段目に積まないようにする。作業手順の徹底。作業前のKYKの実施、昇降作業をする前の転落すると思われる場所に突起物、障害物が置いて無いか確認して、置いてある場合どかせるものは転落した時大けがをしないように移動させる。 落下緩衝マットの導入による転落時のけがの軽減 作業手順書の作成、KYKの実施	2	5	4	11	IV	残留リスクの対処法 残留リスクの共有